

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名 教育委員会 生涯学習課

件 名	企画展示『復興する鹿島』を市民文化ホールで開催しています。
アピールポイント	のごみ人形工房・染織資料館から『木製玩具』（のごみ人形の祖型）をお借りして展示しています。この他にも、鹿島市教育委員会が所蔵する戦前・戦後復興時の文化財を多数展示しています。 また、9月21日の16：10頃から担当職員の展示解説も行います。
説 明	○展示主題：復興する鹿島 戦後80年・のごみ人形無形文化財登録記念 ○展示期間：令和7年7月23日（水）～令和7年10月19日（日） ○会 場：鹿島市民文化ホール（SAKURAS）ふるさと資料館1階・2階 ○開館時間：午前9時から午後5時まで ※原則、月曜日は休館日 ○観 覧 料：無料 ○展示資料：木製玩具、木銃、防毒面、四五式軍帽、薬莢 ほか ○主 催：鹿島市教育委員会 ○協 力：今村写真館、大村市歴史資料館、大村市近代資料室、染織資料館、のごみ人形工房 ○展示解説：9月21日（日）16：10～16：50に、担当職員による展示解説を行います。参加申込不要・参加費無料ですので、ぜひご参加ください。
別添資料	☒ あり ☐ なし



本件に関する問合せ先

所属	生涯学習課 社会教育・文化係
氏名	江島
TEL	0954-63-2125
FAX	0954-63-2313
Mail	shougai09@city.saga-kashima.lg.jp

令和7年度 第2回企画展示

復興する鹿島

令和7年
7月23日(水)
～10月19日(日)

鹿島市民文化ホール (SAKURAS) ふるさと資料館

戦後80年
のごみ人形県無形文化財登録記念

モノが語る戦争の
出来事と戦後の物語



「木製玩具」
染織資料館
のごみ人形工房蔵
※「のごみ人形」の祖型



左端：「第21海軍航空廠慰霊塔奉賛会資料 旅行許可(証明)証」大村市歴史資料館、大村市近代資料室蔵
※この資料のみ、7月29日(火)～8月31日(日)までの期間限定で展示
ほか：「鉄兜」「飯盒」「奉公袋」「軍帽」「薬莢」「防毒面」「水筒」鹿島市教育委員会蔵

会場：鹿島市民文化ホール (SAKURAS)
ふるさと資料館 1階・2階
佐賀県鹿島市大字納富分 2643-1
開館時間：午前9時から午後5時まで
※月曜日、祝日の翌日は休館日
※市民文化ホールでイベント開催中は展示を中止
観覧料金：無 料
主催：鹿島市教育委員会
協力：今村写真館、大村市歴史資料館、大村市近代資料室、
染織資料館、のごみ人形工房
問い合わせ：鹿島市民文化ホール TEL:0954-63-2105



西暦 2025 年をもって、終戦から 80 年が経過したことになります。戦時中の鹿島は、米軍の空襲を受けてはいません。しかし、戦争の影は人々の生活に入り込み、徴兵・鹿島高等女学校ほか学徒動員・浜町への工場疎開など、鹿島市民もあらゆる形で戦争に参加させられました。

戦争が終わった直後も、暗い雰囲気は日本を覆いました。その中で、鈴田照次氏がこの暗い空気を払拭するため、木材の端材を使って、面浮立やカラスをモチーフにした「木製玩具」を作成しました。この木製玩具は当初、売り物ではありませんでしたが、祐徳稲荷神社への参拝客のお土産とするために、土づくりの「のごみ人形」となりました。のごみ人形は、2025 年に佐賀県無形文化財として登録されています。

本展示では、鹿島市民に関係する戦争の記憶と、戦争からの復興を目指した人々の足跡を紹介します。



のごみ人形 (巳)



第 21 海軍航空廠慰霊塔奉賛会資料の写真
昭和 20 年 4 月 29 日天長節 鹿島町誕生院にて
(大村市歴史資料館・大村市近代資料室蔵)



昭和 30 年の佐賀県立鹿島実業高校校舎の写真
(今村写真館蔵)



昭和 29 年 10 月 1 日 鹿島市の市政施行記念祝賀の写真
(鹿島市役所蔵)



昭和 47 年に実施された儀助平洞穴発掘調査の写真
(鹿島市教育委員会蔵)

展示内容 (主な展示資料)

- のごみ人形の誕生 (木製玩具、のごみ人形)
- 戦争と鹿島市民 (軍帽、鉄帽、飯盒、防毒面、木銃、ほか)
- 海軍第 21 航空廠と鹿島 (第 21 海軍航空廠慰霊塔奉賛会資料)
- 戦争と農業 (唐箕、千歯こき、除草機)
- 復興の風景 (今村写真館、鹿島市役所所蔵の戦後写真)
- 鹿島錦と戦後 (現代の鹿島錦)
- 面浮立と戦後 (浮立面、シャグマ)
- 戦後の考古学 (儀助平洞穴出土土器、石器ほか)
- 戦後を見据えていた偉人